

令和4年度

第2回桂萱公民館運営推進委員会

日時 令和5年3月7日(火) 午前10時～

場所 桂萱公民館 1階 会議室

前橋市 桂萱公民館

学級・講座学習プログラム・資料編

- 1 子育て・親子支援事業 _____ p1~5
- 2 青少年体験・チャレンジ活動事業 _____ p5~12
- 3 学び合い、人権、地域ふれあい事業 _____ p13~34
- 4 生涯学習奨励員活動支援事業 _____ p35~36
- 5 桂萱地区文化祭 _____ p37~38
- 6 桂萱公民館自主学習グループ事業 _____ p39~41
- 7 桂萱公民館 館報「桂 萱」 _____ p42
- 8 各種団体事業・団体育成事業 _____ p43~44
- 9 読書普及活動 _____ p44
- 10 関係資料
 - ① 前橋市公民館条例
 - ② 前橋市公民館運営審議会規則
 - ③ 前橋市公民館運営推進委員会規則

1. 子育て・親子支援事業

わいわい子育てセミナー(前期)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳児とその保護者（土日開催の回は父親等も参加）

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/5 (月) 10:00~11:30	はじめまして！わいわい親子遊び	実技	子育て支援課 こども発達支援センター	19
2	9/15 (木) 10:00~11:30	タイダイ染めでオリジナルTシャツづくり	実習	わいわい子育てセミナー運営委員	17
3	9/22 (木) 10:00~11:30	バルーンアートであそぼう	実習	新井 弘子	15
4	9/30 (金) 10:00~11:30	子どもに多い事故の予防と応急手当を学ぼう(子育てサロン 萱の芽と合同開催)	講義	赤十字幼児安全法指導員 天田 豊人・ 子育てサロン 萱の芽	10
5	10/3 (月) 10:00~11:30	人形劇と紙芝居	実技	桂萱読み聞かせの会 「はぐはぐ」	17
6	10/13 (木) 10:00~11:30	牛乳パックでお薬手帳ケースづくり+こどもの食事のはなし	実習 講義	吉野 芳江	16
7	10/16 (日) 10:00~11:30	親子でさつまいも堀り	実習	農畜産物直売所 「味菜」	27
8	10/31 (月) 10:00~11:30	えいごでハロウィン	実技	富澤 素直	17

※さつまいも堀りは、青少年体験・チャレンジ活動合同事業

(4) 評価と反省

公民館報で運営委員を募集したところ3名の運営委員が集まり、運営委員会で内容や方法を検討し開催に至った。前年同様1回のセミナーにする予定であったが、運営委員から多くの企画案が出たことや、毎年定員超過で参加できない人がいることから、前期と後期に分けて参加者を入れ替えて実施することになった。

第2回目では運営委員が講師となってTシャツのタイダイ染めを行ったり、第8回目ではハロウィンのお菓子の代わりに運営委員の手作りおもちゃを渡すなど、運営委員が積極的に参加していた様子が印象的だった。

第4回目は子育てサロン「萱の芽」と合同開催、第5回目は桂萱読み聞かせの会「はぐはぐ」に講師を依頼したことで、各団体の周知や交流にもつながった。



さつまいも堀りの様子



ハロウィンの様子

乳幼児期における発達障害の早期発見支援

(1) ねらい

- ①発達障害の特性等を学び、周囲の大人がどのように関わったらよいかを考える。
- ②発達障害の早期発見のための知識を得ることで、保護者の不安感を軽減する。
- ③子育て中の保護者のみでなく、一般市民を対象とすることで、発達障害の子どもの生きづらさ、その子どもを育てる保護者の困難さ等の理解を深め、子育て支援体制の充実を図る。

(2) 対象等

対象：希望者30人程度

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/8 (土) 10:00~11:30	発達障害の特性を学び、周囲の大人がどのように関わったらよいかを考える	講義	ぐんま医療福祉大学 教授 奥野 みどり	13

(4) 評価と反省

幅広い世代に受講してもらい発達障害への理解を深めたいと、子育て中の保護者に限定せずに募集を行った結果、父母6人、祖母1人、教育関係者1人に参加していただいた。デリケートな内容であるため、個別相談の時間も設けてもらい、相談者からは「不安に思っていたことにアドバイスをいただき安心した」との声をいただいた。より多くの人に受講してもらえよう周知方法を工夫する必要があると感じた。

わいわい子育てセミナー(後期)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳児とその保護者（土日開催の回は父親等も参加）

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/9 (水) 10:00~11:30	こどもに伝えていきたい“食育”教室	講義	健康増進課 管理栄養士	4
2	11/13 (日) 10:00~11:30	荻窪公園に集合！散策&小物づくり	実習	田子 智代	37
3	11/21 (月) 10:00~12:00	しめ縄飾りをつくろう	実習	北爪 麻衣子	13

4	12/3 (土) 10:00~11:30	【同時開催】パパと一緒にふれあひ遊び／ママは別室で学習（子どもがすすんでできるお片付け講座）	実技 講義	共愛学園短期大学部 永井 真紀 整理収納アドバイザー 一 山田 千里	13
5	12/7 (水) 10:00~11:30	もうすぐクリスマス！ツリーをつくろう	実習	大矢 宏美	13
6	12/17 (土) 10:00~12:00	子どもと一緒にオリジナル時計づくり	実習	星野 弘	25
7	12/20 (火) 10:00~11:30	ベビーダンス《対象》首すわり～1歳半頃	実技	加藤 七恵	4
8	12/22 (木) 10:00~11:30	キッズベビーダンス《対象》1歳半～3歳	実技	加藤 七恵	8
9	1/13 (金) 10:00~11:30	フィンガーアートと手形足形で思い出づくり	実習	坂本 ゆきえ	17

(4) 評価と反省

運営委員より休日に家族で参加できる回があるといいという意見があったため、後期は3回休日に行う回を設けた。第4回目はパパと子どもがふれあひ遊び、ママは別室で学習をするという講座を企画し、参加者からは「子どもが思いきりパパと遊べてよかった」「学習に集中できてよかった」と好評だった。

託児不可のため、作品づくりは安全に配慮しながら行った。途中泣き出してしまう子どもいたが、参加者同士で協力しながら楽しそうに作品を仕上げている様子から、リフレッシュできる時間の必要性を感じた。

今回は0～3歳児とその保護者として募集をしたが、子どもの年齢によってできることが異なることや、子どもの年齢が近い保護者が交流している様子から、次年度は子どもの年齢をさらに分けて実施してもよいと感じた。



荻窪公園での講座の様子



時計づくりの様子

2 青少年体験・チャレンジ活動事業

インリーダー・育成指導者講習会

(1) ねらい

①インリーダー講習会

今年度新たに子ども会のリーダーとして期待される小学生等を対象に、「子ども会とは」「リーダーの心構え」「集会の企画や運営」等を学習し、子どもが主体となって子ども会を運営できるインリーダーを養成の一助とする。

②育成指導者（初級指導者）講習会

子どもを指導・援助する育成者の指導者講習（初級指導者認定講習）を開催し指導者としての基本的な知識や技術の習得を図る。

(2) 対象等

桂萱地区内の子ども会に所属している子どもたちや育成会の保護者を対象

参加者：インリーダー講習 14人・育成指導者講習 5人

(3) 内容 開催日：7月17日（日） 午前9時～午後3時

概 要			
時 間	インリーダー講習会（子ども）	時間	育成会指導者講習（大人）
9：00～	■受付開始		
9：30～	■開会式（内容説明等）		
9：40～10：10	■講習 【ホール】 ・KYT講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員	9：40～10：30	■講習Ⅰ 【会議室】 「食中毒予防について」 講師 前橋市保健所 衛生検査課職員
10：15～11：00	■調理実習 【調理実習室】 ・カレー作り		
11：10～11：40	■実技講習 【ホール】 ・すぐに役立つレクリエーション 講師 市子連役員、桂子連役員	10：40～11：40	■講習Ⅱ 【会議室】 ・KYT講習（危険予知訓練トレーニング） 講師 市子連役員、桂子連役員
11：50～12：40	■昼食・交流会 【会議室・ホール・公民館敷地内等】 ※お昼は、調理実習で作成したカレーになります。		
12：45～14：40	■実習 ウォークラリー 桂萱公民館出発— 徒歩 —上毛電鉄（上泉駅：13:01発）—電車—（中央前橋駅：13:08着） ※ウォークラリー CP1～CP5 （☆途中 飲み物を用意します） →全チームが桂萱公民館着		
14：50～15：00	■閉会式 子ども会インリーダー講習会 修了証・参加証の交付 ※育成指導者講習修了証については前橋市青少年課より届き交付します。		

※講習 I 「食中毒予防について」

夏場に起こりやすい食中毒について、ノロウイルスやカンピロバクターなどの食中毒原因物質の特徴について説明を受けるとともに、過去の食中毒事例における不適切な食品の取り扱いなどを取り上げて食中毒について学びます。

(4) 評価と反省

インリーダー講習会は、毎年参加してくれる子どもも多く高学年が低学年の面倒をみながら講習会へ参加してくれたため、参加者みんなが一日を通して講師の話真剣に聞きとっており学習態度はとても良好でした。

今回の育成指導者講習会は、まえばし出前講座を活用した夏場に気をつけた「食中毒予防について」という題で衛生検査課職員による講座を行い受講者から率先して質問が出るなど講評であり、また KYT 講習など子どもと大人のそれぞれの講座やウォークラリーを通じてコロナ禍という状況であるがこれからの子ども会活動に必要な基礎を学んだ充実した講習会となりました。

子どもたちには、インリーダー講習を通して、自分たちが主体となって子ども会を運営していくための知識や技術を学び、これから積極的に子ども会のリーダーとして活躍してもらいたい。

大人たちには、育成指導者講習を通して指導者能力の向上を図り、その能力を日頃の育成会活動において発揮してもらいたい。

今後は、参加者のニーズに応じて内容の充実を図り、指導者養成、リーダー養成に努めていきたい。

●インリーダー講習



KYT講習：危機予知訓練トレーニング



すぐに役立つレクリエーション



調理実習



出来上がったカレーライス

●育成指導者講習会



講習「食中毒予防について」



KYT講習：危機予知訓練トレーニング

●実習 ウォークラリー



桂萱公民館出発



上電で中央前橋駅へ移動



上電中央前橋駅からスタート



CP: 中央前橋駅
 目: 桂萱公民館

ウォークラリーコース略図

桂萱サマーチャレンジスクール

(1) ねらい

- ①夏休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。
- ②共同で学習や作業することで社会性を身につける。
- ③学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る。
- ④講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区に在住・在学の小学1～6年生

周知方法：チラシ配布（地区内小学校児童）、ホームページ、公民館報

受付：ホームページのフォーム、窓口、電話

延べ参加者数：237人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/21（木） ① 9:30～11:30 ②13:00～15:00	「わくわくクッキング！」 ～ドッグサンドを作ってみよう！～	講義 実習	桂萱地区食生活改善 推進委員会	①11 ②12
2	7/22（金） ① 9:30～10:00 ②10:30～11:30	「夏の書道教室」 ～「とめ」「はね」「はらい」をマスターしよう～	講義 実習	桂萱学習グループ 式部の会 高校生2名	①27 ②22
3	7/25（月） 7/26（火） 各日9:00～11:00	「夏の絵画教室」 ～水彩画やポスターを描いてみよう～ 1日目（7/25）下絵 2日目（7/26）色塗り	講義 実習	桂萱学習グループ 桂の会 前橋東高校美術部	①36 ②38
4	7/26（火） 14:00～16:00	「サイエンス教室」 ～色が変わる?!水の不思議を体験しよう～	講義 実験	NPO教育支援協会 北関東 桂萱中学校科学部	15
5	7/27（水） ①10:00～11:30 ②13:30～15:00	「陶芸に挑戦！」 ～オリジナルの器（うつわ）を作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 楽陶クラブ	①18 ②20
6	7/29（金） 9:30～11:30	「七宝焼に挑戦！」 ～キーホルダーを作ろう！～	実習	桂萱学習グループ 桂萱七宝クラブ 中学生1名	19
7	8/2（火） 9:30～11:40 （途中10分休憩）	「はじめてのプログラミング」 ～絵が動くグリーンカードを作ってみよう！～	講義 実習	NPO教育支援協会 北関東 高校生・大学生他1名	22
8	7/23・30 8/6・20・27（土） 各日9:00～12:00	「囲碁・将棋教室」 ～夏休みに囲碁・将棋を覚えて対局しよう～	実習	桂萱学習グループ 桂萱囲碁将棋クラブ 前橋高校将棋部	延べ 33

(4) 評価と反省

今年度も「囲碁・将棋」以外の申込方法は、ホームページのフォームを利用し、定員を上回る申し込みがあった講座は抽選を行った。受講の可否は紙ベースで主に学校経由で連絡した。昨年、複雑な対応に苦慮したメールではなく、紙による連絡を採用したが、今回はフォームへの入力誤りが多く、情報の修正に時間を要した。そのため、受付や連絡方法は再度検討を要する。

多くの講座でボランティアとして中高生や大学生、地域住民の協力があり、身近なお兄さんやお姉さんなどとしての参加で、受講生にとってより学習しやすい環境が生まれた。コロナ禍で開催を見合わせていた「クッキング」や「囲碁将棋」は、感染防止対策を十分に行い3年ぶりに開催することができた。どの講座でも、受講生がキラキラした目で学習に取り組む様子が印象的だった。普段、学校ではなかなか学べない専門的な内容に、受講生はとても満足した様子だった。迎えに来た保護者との会話からも、また参加したいとの感想が多く聞かれた。



「料理」 ウィンナーに切れ目を入れます



「書道」 実際に取り組んでいる様子



「絵画」 色塗りをしている様子



「科学」 何色に変化するかな？



「陶芸」講師の説明を聞く様子



「七宝焼」出来上がったキーホルダー



「プログラミング」応用編に取り組む様子



「囲碁将棋」将棋の対戦の様子

桂萱オータムチャレンジ講座(赤城山ろく里山学校)

(1) ねらい

- ①屋外での収穫体験を通じて自然に親しみ、親子の絆を深めるとともに、食への興味や関心を高める。
- ②コロナ禍にあり屋内で過ごすことが多い子どもたちの外出の機会とする。
- ③地元の農産物生産者や他の参加者と交流を図ることにより、地域理解を深める。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住・在学の小中学生とその保護者 9組

周知方法：公民館報、タブレット配信（地区内小中学校）、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/16(日) 10:00~11:00	さつまいもほり体験	実習	協力：産直「味菜」	27

(4) 評価と反省

「味菜」の協力と降雨がなかったことが幸いして、畑の一部も駐車場として使用できた。受付で、勢多農林高校の生徒が学習に使用しているさつまいもレシピと本市保育所担当栄養士考案のさつまいもレシピを配布したところ、「作ってみたい」と「さつまいもほり」を盛り上げる明るい反応がみられた。大きなさつまいもが収穫できると歓声が上がり、親子や子ども同士で喜びを分かち合う姿が見られた。子ども達は、バッタやトカゲなどの生き物に心を奪われながら、土いじりや収穫を楽しんでいる様子だった。夏期の除草作業が十分ではなかったところは、収穫量がやや少なかったため、不公平に感じ、アンケートに改善策を書いて提案してくれた参加者もいた。もしもの時用にさつまいも畑の一部を掘らずに残しておくなど、次回の検討材料としたい。



マルチを協力してはがします



たくさんおいもができました

桂萱ウインターチャレンジ講座

(1) ねらい

- ①外国語を学ぶことで文化の違いに触れ、季節の行事をより楽しむヒントを得る。
- ②学校や学年を超えた交流や仲間づくりの機会とする。
- ③講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人との交流を図る。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区在住または在学の小中学生 20名

周知方法：タブレット配信（地区内小学校）、チラシ、ホームページ

受付：窓口、電話

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/10(土) 13:30～15:00	「フランスの文化と英語」 ～フランス語や英語を学んでクリスマスを楽しく過ごそう～	講義 実習	桂萱学習グループ 桂萱フランス語クラブ	12

(4) 評価と反省

小中学校経由のタブレット配信によりチラシを配付したが、定員よりも申込数が少なかったため、再度、紙ベースでチラシ配付を行ったところ、申込数が増えた。学習グループに講師を依頼することで、クラブ活動で習得したことを活かす機会が提供できたと思う。フランス語よりも一般的になじみのある英語を取り入れたことでフランス語の学習がスムーズになり、ゲームやカード制作を通じて言語と文化に親しむことができた。



講師の先生による説明の様子



体を動かしながら学びます

3 学び合い、人権、地域ふれあい事業

いきいきシニアスクール

(1) ねらい

高齢者が毎日を健康で楽しく、さらに生きがいをもって過ごせるように次の目的をもって実施する。

- ①孤立・ひきこもりの発生を予防し、健康づくりを支援し安心して日々の生活ができるようにする。
- ②変わりゆく情報社会で高齢者が犯罪に巻き込まれないよう色々な情報を提供する。
- ③参加者同士の仲間づくりとして、交流や学びの場を提供する。

(2) 対象等

募集方法：桂萱地区老人クラブ連合会 単位老人クラブから周知

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/29(月) 10:00～11:30	楽しく学ぶ！ 認知症予防講座	講義	明治安田生命保険 杉内 由紀子	41
2	10/25(火) 9:00～11:30	高齢者のための 健康づくり講座	講義実技	地域おこし協力隊 ウェルネスライフトレーナー 橋本 大介	22
3	2/7 (火) 10:00～11:00	悪質商法に 気をつけよう！	講義寸劇	前橋市消費生活センター (出前講座)	30

(4) 評価と反省

桂萱地区老人クラブ連合会と連携し講座の周知・希望者のとりまとめ・受付等の協力をいただき実施した。

コロナウイルス感染症拡大防止のため、シニアスクールは3年ぶりの開催だった。

楽しく学ぶ！認知症予防講座では、実際の生活に役立ち自宅で出来ることがないか、認知症の予防は、頭を使う行動、身体を継続して動かす、人との交流と会話を楽しむ事が大切との話があり、講演後も参加した老人クラブ会員の方は、久しぶりに集まれたことで楽しそうに歓談しており、ねらいである交流や学びの場を提供することができた。

高齢者のための健康づくり講座では、テニスボールを使ってお尻の筋肉をほぐしたり、猫のポーズ、ドンキーストレッチ、呼吸筋のトレーニング（腹式呼吸）、ヒップリスト、スクワットなど、先生が分かり易く運動の仕方を説明し、

参加者を回りながら指導していただいたこともあり、ストレッチなどすぐには出来ない方もいたが、たった1回の運動でも腰などがスッキリして楽になったと好評であり家庭でも気軽に健康づくりができるように、友達にも教えてあげたいと言って、資料をもらって行く方もおり、日々の生活で生かせる講座となった。



楽しく学ぶ！認知症予防講座の様子



高齢者のための健康づくり講座の様子

桂萱スマホ教室

(1) ねらい

- ①コロナ禍においてより一層デジタル化が加速し、それに対応する為スマートフォンを学ぶ機会を設けることで、デジタル・ディバイドを解消する。
- ②スマートフォンを活用することで市民の利便性を高める。
- ③企業が行う社会貢献事業の積極的な活用。

(2) 対象等

対象者：桂萱地区内在住の方

【Aコース】20名 【Bコース】20名 合計40名

受講料：無料

周知方法：館内チラシ設置、公民館報桂萱等

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/5(月) 10:00～ 12:00	A:スマートフォンの基礎を学ぼう	体験	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	16
2	9/5(月) 13:30～ 15:30	B:L I N Eを使ってみよう!	体験	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー	14

(4) 評価と反省

情報化社会における情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差「デジタルディバイド」解消の一環として、スマホ教室を実施しました。今回はソフトバンク株式会社の社会貢献事業を活用し、ソフトバンクスマホアドバイザーを講師に招き、Aコースをスマートフォンの初心者を対象とした「スマートフォンの基礎を学ぼう」、Bコースを「L I N Eを使ってみよう!」と題してL I N Eアプリを体験する内容を行いました。教室用のスマートフォンについてはソフトバンクが講習用の端末を用意していただいたため、スムーズに教室を進めることができました。

今回の教室参加者からはとても楽しかった、勉強になったなどの感想が聞かれ、今後も地域情報格差の解消に関する事業を継続的に展開していきたい。



A:スマートフォンの基礎を学ぼう



B:L I N Eを使ってみよう!

いきいきシニアスクール「健康マージャン入門教室」

(1) ねらい

- ①コロナ禍において高齢者の孤立・ひきこもりの発生を予防し、地域活動への参画促進を図る。
- ②新たな分野の体験を提供し、地域住民のコミュニケーション、仲間づくりを目指す。
- ③仲間と交流しながら指先や頭を使うことで、脳の活性化を図り健康寿命を延ばす一助とする。

(2) 対象等

市内在住・在勤の60歳以上 初心者の方向けの講座

募集方法：桂萱地区老人クラブ連合会 単位老人クラブから周知

公民館報「桂萱」に掲載

館内にチラシを掲示、近隣の公民館にチラシを配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
4	11/7(月) 14(月) 21(月) 28(月) 9:00~12:00	初心者の人に基礎から点数計算まで親切に教えます。	講義 実技	健康麻将全国会 地域指導員 阪本 一雄	4回 のべ 99

(4) 評価と反省

初心者の教室で募集をしたが、ベテランの方も数名参加されていたため、講師の説明を聞かずに取り組んでおり、講師が苦慮することもあった。申込時に初心者限定ということで、お断りするべきであった。

参加した皆さんは、大変楽しそうに対局されており、いろいろな方との交流や新たな分野の体験が出来たものと思います。

今後も継続したいという意見があったので、アンケートをとった結果、22名の方で自主学習グループを設立し定期的に学習を行うこととなった。



健康マージャン入門教室の様子

【動画配信】YouTube 動画講座 桂萱Kitchen ゼミ～おきりこみに挑戦～

(1) ねらい

- ①新型コロナウイルス対策として、また定着してきた動画配信にて家庭でもできる料理部門として、オンライン方式の公民館講座を実施する。
- ②地元桂萱地区食生活改善推進員による桂萱地区で多く栽培されている野菜を取り入れた家庭でも作れる郷土料理「おきりこみ」の作成動画をYoutube 経由で配信する。
- ③居住地などに関係なく、どなたでも視聴可能とする。

(2) 対象等

対 象：一般市民（どなたでも）

周知方法：公民館報掲載にて情報発信

撮影日時：12月5日 13：30～14：30

撮影場所：桂萱公民館調理実習室

撮影内容：オンライン方式の公民館料理講座を実施する。

題材「おきりこみ」

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	回数
1	12/19 配信	群馬県郷土料理 「おきりこみ」	視聴 実習	桂萱地区食生活改善推進員会	197 1/10 現在

(4) 評価と反省

桂萱地区食生活改善推進員会の協力により、市公式 Youtube 動画にて、長年群馬県の郷土料理として広く知られている「おきりこみ」の調理方法やレシピなどを動画配信しました。

撮影日には、団体が準備した材料や撮影事前の仕込みをしていただき、打合せの段階から普段の食改推の活動の経験により、調理や材料の説明、中力粉を使用しためん打ちや切り方、野菜の説明など丁寧に且つスムーズに撮影を進めることができました。



サムネイル画像



桂萱地区食生活改善推進員会

人権教育に係る児童生徒作品を掲載

桂萱地区の小中学校（桂萱小学校・桃木小学校・桂萱東小学校・桃瀬小学校・桂萱中学校・鎌倉中学校）の協力を得て、児童・生徒のつくった人権標語作品を公民館報「桂萱」にて紹介している。

実績：令和5年1月1日号～3月1日号にかけて、36点の人権標語作品を掲載予定。

人権七夕飾り

(1) ねらい

- ①短冊に文字として書くことにより、人権に対する興味・関心を高める。
- ②七夕飾りを通して人権尊重の意義を広く来館者に周知する。
- ③人権啓発方法の手法拡大を図る。

(2) 対象等

趣旨：様々な角度から人権啓発事業を推進する機会として、人権七夕飾りを館内に設置することにより来館される地域の方々に「自分の願い事」と併せて「人権に関する願い事」を記入した「願い事短冊」を作成いただき、七夕の時期に家族や友人とともに、人権問題に思いを寄せていただく企画として七夕飾りを設置する。（短冊募集期間：6月1日～7月4日）

周知方法：公民館報「桂萱」・館内への募集チラシ掲示

開催場所：桂萱公民館ロビー

参加者数：合計149名（短冊枚数）

(3) 内容

回	設置月日	学習主題・内容	人数
1	6/24（金）～ 7/7（火）	来館者等が人権に関する願い事等を短冊に記載したものを竹に取りつけ、桂萱公民館ロビーに七夕飾りとして設置する。人権に関する願い事のテーマは「平和への願い」とする。	149

(4) 評価と反省

今回で5回目となる七夕の時期の人権啓発事業として、人権七夕飾りとして地域住民や来館者に短冊などに人権に関する願い事を記載していただいた。

今年はロシアによるウクライナ侵攻を受け、侵略反対や平和に対する願いなどが多く寄せられました。

また今回は初めて、前橋地方法務局所有の人権啓発パネル（子ども・女性の人権啓発）を同時展示することによる相乗効果により、広く多くの方に人権に関する関心を高めることが出来たと感じました。



人権七夕飾り



同時展示の人権パネル展

地域ふれあい講座「健康グラウンドゴルフ講座①」

(1) ねらい

①誰でも気軽に参加できる軽スポーツである「グラウンドゴルフ」を通じて、自らの健康維持やフレイル予防のための運動の大切さ、習慣化への理解と関心を深めるとともに、競技を通じて参加者の健康づくり、体力づくり、免疫力の向上に寄与する。

②地域の住民同士が親睦や交流を深めることにより、住みよい地域づくりのための一助とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報に掲載、公民館内に掲示

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
6	5/18、5/25、 6/1、6/22、 6/29、7/6 の6回 各水曜日 9:00～10:30 ※6/8、6/15 は中止	9時00分～ 受付、グループ分け、 注意事項、ゲーム開始 10時30分～ グラウンド整備片付け 毎回、来た方の健康状態を 確認した後、ゲームを行って もらった。マスク着用のうへ 大声を出さないよう注意をし て実施した。	体験 実技	特になし	6回 のべ 87

(4) 評価と反省

毎年恒例の事業であるが、天候の影響で予定していた2回が中止となった。

屋外での事業のため、当日は降っていなくても前日までの雨でグラウンドコンディションが不良の場合もあり、仕方ないことと考えている。

今期も参加者は慣れている方が多く、初めての方も含めて参加者同士の交流や親睦を深めながらスムーズに実施することが出来た。

また、夏休み明けから2回目を開催できるよう準備をしていきたいと思う。



マスク着用で楽しくプレイ



群大生も体験で参加してくれました

地域ふれあい講座「知的書評合戦 ～第2回桂萱ビブリオバトル～」

(1) ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報の他、上毛新聞やFMぐんまなどで募集PR

また、地区内の中学校、高等学校や県立図書館などにチラシを依頼

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/19 (日) 10:30～12:00	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。	体験	特になし	28

(4) 評価と反省

昨年につき2回目となる事業。今回も公民館報の他、地区内の2つの中学校と3つの高等学校や県立図書館などにチラシを依頼して周知に努めた。また、上毛新聞やFMぐんま、インターネットのイベント情報サイトへの情報提供の他新たにアクエル前橋の高校生学習室にも案内を掲示した。

当日は、幅広い年齢層の発表者（バトラー）が集まり、参加者には本を通じたコミュニケーション遊びの楽しさを実感していただけたと思う。

地域内外でのビブリオバトルの知名度を上げて、読書習慣の普及啓発を図るためには、今後も継続することが重要だと考えるので、年度内にもう一度実施してみたいと思う。



6人のバトラーが本を紹介しました



今回は2冊がチャンプ本になりました

学びあい講座「陶芸体験・ぐい呑み作り講座」

(1) ねらい

①公民館で活動する学習グループに講師を依頼することで地域への学びの還元を図る。

②コロナ禍でおうち時間が増えている中で、趣味的な陶芸を学び、体験することにより日々の生活に喜びを増やす一助とする。

③作成題材を限定することで、普段公民館をあまり利用しない成人男性の参加を促す。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民

周知方法：公民館報に掲載、公民館内に掲示

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/31 (水) 19:00~20:30	桂萱公民館学習グループの指導により、体験する機会の少ない陶芸を題材として、男性を呼び込む企画で考えた。 また、定員を少なくし、密にならずに短時間で終わるよう配慮した。	体験	・稲村こずえさん ・下田順子さん (楽陶クラブ)	10

(4) 評価と反省

普段あまり公民館を利用しない、成人男性の参加を促すことを目的の1つとして、「ぐい呑み作り」を通して気軽に陶芸体験をしていただく講座を企画した。新型コロナウイルスへの感染拡大防止で参加者の密を避けるため、定員を少なくして1つの作業台に2人~3人ずつで配置し、室内の換気を十分にしながら実施した。

楽陶クラブにはメインで説明していただく方と、サブで参加者の様子を見ながら補助していただく方の2人体制で指導していただいたので、全員が上手に陶芸を楽しむことができた。初めての体験で成形に苦労している方もいたが、みなさん集中して、よい作品ができた。

残念ながら男性の参加者は2人だけだったが、現役世代(60歳未満)の参加者が過半数を占め、目的の一部は達成できたと思う。今回の講座が参加していただいた方の趣味の幅を広げるきっかけになればよいと思う。



参加者の間隔を空けて行いました



みなさん集中して作品を作りました

地域ふれあい講座「健康グラウンドゴルフ講座②」

(1) ねらい

①誰でも気軽に参加できる軽スポーツである「グラウンドゴルフ」を通じて、自らの健康維持やフレイル予防のための運動の大切さ、習慣化への理解と関心を深めるとともに、競技を通じて参加者の健康づくり、体力づくり、免疫力の向上に寄与する。

②地域の住民同士が親睦や交流を深めることにより、住みよい地域づくりのための一助とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報に掲載

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
11	9/14、9/21、 9/28、10/5、 10/12、10/19、 10/26、11/2、 11/9、11/30、 12/7の11回 各水曜日 9:00～10:30	9時00分～ 受付、グループ分け、 注意事項、ゲーム開始 10時30分～ グラウンド整備片付け 毎回、来た方の健康状態を 確認した後、ゲームを行って もらった。マスク着用のうち 大声を出さないよう注意をし て実施した。	体験 実技	特になし	11回 のべ 221

(4) 評価と反省

6～7月に行った事業の2回目。

今回は天候に恵まれて、予定していた11回を全て実施することが出来た。

前回から参加の方に加え、新たに参加していただいた方も多く、参加者同士の交流や親睦を深めながらスムーズに実施することが出来た。

普段は交流の少ない、いろいろな町の方々に参加いただき、地域のコミュニケーションの活性化にも役立っていると思う。

また、年明けから3回目を開催できるよう、準備をしていきたい。



和気あいあいと楽しくプレイ



ホールインワンも出るようになりました

桂萱手をつなぐロビー展2022

(1) ねらい

公民館のロビー空間を活用し、障がい者理解に向けた啓発、特別支援教育にかかる啓発の機会を設けることで、桂萱地区住民の障害福祉に関する関心を高め、誰にとっても暮らしやすい地域づくりにつなげる。

(2) 対象等

【障がい者理解】前橋市手をつなぐ育成会の活動パネル展示
前橋市社協・第一福祉作業所製品の特別販売会

【特別支援教育】前橋市特別支援学校児童生徒の美術作品展

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/17(土)～ 10/3(月)	活動パネル展示	展示	前橋市手をつなぐ育成会	—
2	9/17(土)～ 10/3(月)	美術作品展	展示	前橋特別支援学校	—
3	9/20(火) 9:30～11:30	福祉作業所製品の特別販売会	販売	第一福祉作業所	—

(4) 評価と反省

公民館ロビー活用並びに障がい者理解及び特別支援教育に係る啓発として各団体活動パネルや作品展示を障がい者理解の啓発等のため実施しました。

また、9月20日(火)のみの期間限定で実施した福祉作業所製品の特別販売会では多くの来館者が興味を示し、物販製品を手に取りながら作業所職員による製品説明を熱心に聞いている方などもおり、数多くの製品を購入していただくことができました。

今回前橋市手をつなぐ育成会、特別支援学校、福祉作業所物販などコラボして実施することにより、より一層地域住民に対して障害福祉や人権に対する啓発を実施できました。



手をつなぐ育成会展示展



物品販売

お金の講座～マネープラン・ライフプランを考える一助に～

(1) ねらい

- ①年金の受給予定額を調べる方法や、年金の繰上・繰下受給でお勧めな人など公的年金の概要を学ぶ。
- ②家計に合った金融商品の選択方法やインフレーションからの防衛方法など金融経済の基礎を学ぶ。
- ③講座の内容を参考にして、マネープランやライフプランについて考える一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住・在勤・在学の人、先着各30人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/4 (日) 10:00～12:00	知っておきたい年金のはなし	講義	前橋年金事務所 小林 秀光 山口 倫央	13
2	9/11 (日) 10:00～12:00	これからの暮らしとお金のはなし	講義	野村証券(株)高崎支店 齊藤 絵里香 天沼 夕佳	21

(4) 評価と反省

石油価格の上昇や急激な円安などで多くの生活必需品が値上げされている中で、これからの暮らしを守るため、公的年金の概要や金融経済の基礎などを学び、マネープランやライフプランについて考える一助としてもらうために開催した。

「知っておきたい年金のはなし」の講座では、講師が「加給年金」や「特別支給の老齢厚生年金」など、多くの受講生に馴染みの少ない用語を説明なく使用していたことから、受講生の理解度が低く、あまり満足のいく講座にはならなかった。

また、「これからの暮らしとお金のはなし」の講座では、受講生のレベルが一定しておらず、講義内容が易しいと感じる人と難しいと感じる人がおり、受講生のレベルが同一でないと受講生全員が満足する講座の開催は難しいと感じた。

2つの講座を比べると、民間企業の講師の方が説明が分かり易いだけでなく、クイズをしたりスマホをいじらせたりして、受講生を飽きさせない工夫をしていた。なお、今回の講座の反省点は、今後の講座に活かしたい。



年金テキストを利用して講義



コロナ禍の講座は間隔を空けて



受講生が熱心にお金の勉強



プロジェクターを使って分かり易く

地域のボランティアを知るための学習会事業

(1) ねらい

- ①将来を担う若い世代に、地域の役員活動内容や可能性を伝える。
- ②役員活動を可視化することで、役割の重要性を認識し、活動に対する理解を深める機会とする。
- ③コロナ禍で交流の機会が減少した役員と地域住民とを再び繋ぎ、地域の役員活動の円滑な実施を支援する。

(2) 対象等

対象：主に桂萱地区に在住や在学の中高校生等

周知方法：地区内の学校へ参加者募集を依頼（取材）等
公民館報（展示）

(3) 内容

中高生等に地域のボランティア活動を知ってもらうため、参加者を募り、実際に活動している役員を取材や調査する機会を設け、活動内容や取り組みに対する思いややりがい等をまとめたものをパネル展として発表。

参加者：8名（桂萱中：2、前橋東高：3、市立前橋高：1、大学生：1）

取材期間：8月～10月

取材対象：14団体（協力者18名）自治会長、民生委員、交通指導員等

展示期間：10/6（木）～17（月）

展示場所：桂萱公民館ロビー

展示名：「未来をささえる地域のボランティア活動展」

(4) 評価と反省

普段かかわる機会が少ない学生達と接するため、取材される側（取材対象の各種役員や関係機関）からの反応がとてもよかった。いずれもコロナ禍で活動機会が大幅に減少し、薄れゆく地域住民とのかかわりへの危機感から、自分たちの活動を発表する貴重な機会と歓迎された。取材者側は、地域のために地道な活動を続ける人たちの温かい心に触れ、感謝の気持ちや尊敬の念を抱き、いつか自分たちもいずれかに関わりたいとの気持ちが芽生えた様子だった。展示を見た人からは、（高校生のカラフルなまとめを見て）「よくまとめられているね」「いろいろな活動があるのね」「私もこの活動とその活動を何年もしていたよ」等、親しみを込めた感想を多くいただいた。見えにくかったそれぞれの活動に光を当てたことで、活動への理解が深まる機会となり、展示できてよかった。今後も今回取り上げられなかった活動について、学生や一般の協力を得て紹介する機会が持てたらいいと思う。なお、今回の参加者のうち2名から当地区の文化祭にボランティアとしての協力希望があり、次に繋がる事業となった。



展示の様子（正面）



消防団活動紹介のパネル

暮らしの健康増進講座

(1) ねらい

- ①眠りと健康の意外な関係を理解し、睡眠の正しい知識や良質な睡眠のとり方等、最適な睡眠について学ぶ。
- ②食を通じて身体の内側を整えて健康を保ち、老化を防いでいつまでも若々しく生きる方法を学ぶ。
- ③健康増進することにより地域活動への意欲を高め、積極的な参加を促す。

(2) 対象等

対象：睡眠…市内在住・在勤・在学の人、先着30人

女性の健康…市内在住・在勤・在学の女性、先着30人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/20 (日) 10:00~11:30	睡眠と健康の知恵袋講座	講義	明治安田生命保険相互 会社群馬支社 杉内 由紀子	12
2	11/27 (日) 10:00~11:30	女性のための健康づくり栄養講座	講義	明治安田生命保険相互 会社群馬支社 杉内 由紀子	14

(4) 評価と反省

包括連携協定を締結している明治安田生命相互会社の講座。担当者の熱心な勧誘により実施する運びとなった。

「睡眠と健康の知恵袋講座」は、難しい用語が少なく、受講者から講師の説明が分かり易いと評判が良かった。また、テキストもページ数は多いが、見易く、分かり易く編集されていて良かったと思う。講座では、クイズや生活習慣チェック、体操などで受講生の関心を引き、飽きさせない工夫をしていた。

「女性のための健康づくり栄養講座」は、女性のアンチエイジングを目的とした講座で、対象年齢が30歳代から50歳代までのもの。しかし、実際は、受講者14人のうち、40歳代が1人、50歳代が2人で、残りの11人が60歳代以上と、講師が希望する受講生の年齢構成とはならなかった。なお、講座の内容は、健康に関する事項を網羅していて男性でも受講する価値があると感じた。

両講座とも60歳未満の人を主な対象者と考えていたが、実際の受講者はほとんどが60歳以上だった。今後、中堅層を対象とした講座の周知方法を検討したい。



講師の杉内由紀子先生



健康増進講座全体の様子



講師の説明を熱心に聞く受講生



講師に合わせてストレッチ

地域ふれあい講座「知的書評合戦 ～第3回桂萱ビブリオバトル～」

(1) ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱地区住民（地区外でも可）

周知方法：公民館報の他、上毛新聞やFMぐんまなどで募集PR

また、地区内の中学校、高等学校や県立図書館などにチラシを依頼

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/11 (日) 10:30～12:00	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。	体験	特になし	21

(4) 評価と反省

6月に続き通算3回目となる事業。今回も公民館報の他、地区内の2つの中学校と3つの高等学校や県立図書館などにチラシを依頼して周知に努めた。また、上毛新聞やFMぐんま、インターネットのイベント情報サイトへの情報提供の他、アクエル前橋の高校生学習室にも案内を掲示した。

今回のバトルには親子の参加や、以前に参加していただいた方の再戦があったりして、バラエティに富んだ内容だった。

観戦者の方は、毎回楽しみにしてくれている方も出来てきた。また、終了後に紹介された本について語り合うようなコミュニケーションも見受けられた。

去年から続けてきた成果として、地域の読書文化が育ってきたように思う。



5人のバトルが本を紹介しました



小学生の発表がチャンプ本になりました

大人のための音楽物語～サウンド・オブ・ミュージック

(1) ねらい

- ①日頃接することのないプロの演奏家によるコンサートを、地元で楽しむ機会を提供する。
- ②音楽と紙芝居による朗読を聴くことで、新たな趣味や生きがいつくりの発見を促す。
- ③様々な人が集まる場を提供することで、新たな友人づくりの一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住・在勤・在学の人、先着60人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/5 (日) 10:30～12:30	①「サウンド・オブ・ミュージック」 (バイオリン・ヴィオラ及びピアノの演奏と、大きな紙芝居の朗読で鑑賞する) ②ヴィオラでSong's (皆さんお馴染みの曲をヴィオラの演奏で楽しむ)	音楽鑑賞	ビオラ奏者 井桁 正樹 ピアノ奏者 峰岸 小織 朗読 田中 美貴子 (城南公民館職員)	57

(4) 評価と反省

今回の講座は、当初受講者の定員を50人で募集していましたが、数日で定員に迫ったことから、急遽10人増員して60人としました。締め切り後も申し込みの電話が何件もあり、期待度の大きな講座となりました。コロナ禍で定員に満たない講座が多い中での反響は、外出を控えていた人たちが「近くの公民館で行われるコンサートならば行ってみよう」との需要に合った結果でしょうか。

今回参加した多くの受講者が、井桁先生や峰岸先生の奏でる音色に聞き入っており、地元の公民館でプロの演奏家によるコンサートを楽しんでいただく良い機会となりました。満足度も高く、来年度開催した場合に再度参加したい人と思う人が多数を占めたことから、来年度の開催を検討したいと思います。

4 生涯学習奨励員活動支援事業

かいがやふれ愛コンサート

(1) ねらい

- ①地域文化の向上を図る。
- ②地区内高校生と連携することによって、世代間の交流を図る。
- ③文化祭に合わせて開催することにより、生涯学習奨励員の活動を地域住民にアピールする。

(2) 対象等

対象：生涯学習奨励員、文化祭来場者等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/29(土) 14:00~15:00	前橋工業高校吹奏楽部 による演奏	コンサ ート	前橋工業高校吹奏 楽部	80

(4) 評価と反省

「かいがやふれ愛コンサート」は文化祭の一つの催しとして、地区内にある高校4校の吹奏楽部へ順番に演奏を依頼して毎年度開催していた。しかし、コロナ禍のため、一昨年度、昨年度と文化祭が中止だったことから、「ふれ愛コンサート」も中止となっており、3年ぶりの開催となった。今年度は順番から前橋工業高校が演奏した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、席の間隔を空けて人数を制限しての開催だったが、ほぼ満席になった。高齢者も知っている懐かしい曲やテレビでお馴染みの曲を演奏していただき、大盛況だった。



前橋工業高校吹奏楽部の演奏



多くの人が演奏を鑑賞

ふるさと探検調査

(1) ねらい

- ①それぞれの地域内にある名所や旧跡等を学ぶきっかけを作る。
- ②地域内にある名所や旧跡等を学ぶ過程で地元の人との交流を図る。
- ③生涯学習奨励員の活動をアピールして認知度を高める。

(2) 対象等

対象：生涯学習奨励員

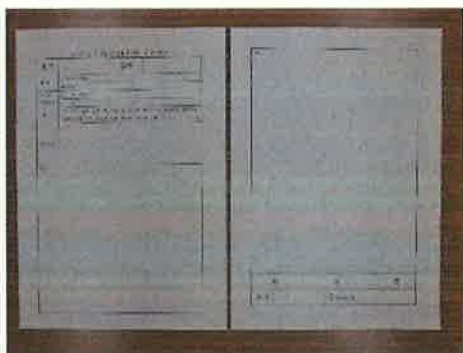
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	調査期間 7/29(金) ～12/28(水)	地域内を散策して名所・旧跡等を調べ、その成果を基に調査票を作成する。	調査・ 実習	自治会内の名所・旧跡等関係者	21

(4) 評価と反省

5月20日に行われた総会において、今年度の事業計画として副会長からそれぞれの奨励員が自分の地域に、どのような名所・旧跡等があるか学んではどうか。それを基にゆくゆくは桂萱地域の名所・旧跡等を回るウォーキングコースを作成してはどうかと提案があった。その後、役員会で調査票や今後の日程等を協議し、7月29日に行われた連絡会議で詳細が決定した。

奨励員それぞれの知識、能力、熱意がまちまちなため、提出期限の12月28日時点で提出は半数程度である。役員会の時に講習会の開催を提案したが断られた。役員を説得して講習会を開催していれば、もう少し意思統一が図れたか。今後未提出の奨励員に提出をお願いして、来年度以降のウォーキングコース作成につなげていきたいと思う。



奨励員が作成する調査票



多くの名所・旧跡等を調査

5 桂萱地区文化祭

桂萱地区文化祭

(1) ねらい

テーマ・スローガン：「文化祭 世代をこえて 絆をふかめ」

- ①桂萱地区地域づくり活動促進事業の一環として、地区内で各種学習活動に励む市民や団体、グループ等が一堂に会し、日頃の練習成果、学習成果を発表し合い、団体相互間の交流を深める。
- ②活動内容を広く市民に公開し、芸術文化への興味関心を高め地域文化の向上を図る。
- ③住民同士の連帯意識の醸成や絆を深め、住みよい地域づくりに寄与する。

(2) 概要

事業名：前橋市市政施行130周年記念

令和4年度 第42回桂萱地区文化祭

場 所：桂萱公民館

主 催：第42回桂萱地区文化祭実行委員会

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
10/22 (土) 11:00~15:30	フロア発表	太極拳、フォークダンス、社交ダンス 7団体の出演 121人	2,000 延べ来場者数
10/29 (土) 9:00~15:00 10/30 (日) 9:00~14:00	作品展示	水彩画、洋画、短歌、書道、七宝焼、陶芸 古文書、歴史、ガールスカウト活動展示等 12団体の作品 149点 138人	
10/30 (日) 9:00~11:40	舞台発表	吹奏楽、合唱、フラダンス、民舞、手話コーラス、八木節、読み聞かせ、ハーモニカ、園児による遊戯、歌謡曲、民謡、ピアノ、ケーナ演奏など 18団体の出演と個人参加 164人	
10/29 (土) 14:00~16:30 10/30 (日) 9:00~14:00	その他	かいがや ふれ愛コンサート(前橋工業高等学校吹奏楽部出演)、郷土芸能交流会、囲碁将棋コーナー、物品販売、地区内小・中・特別支援学校児童生徒の書画展、リサイクル本の無料配布、パネル展示、ブーメラン作り、クイズラリー、ベンチペイント、大抽選会など 13団体 145人	

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症の影響により一昨年、昨年と中止となりましたが、感染症対策を実施しながら前橋市市政施行130周年記念事業と併せ第42回桂萱地区文化祭を3年ぶりに開催しました。この文化祭を開催することにより、桂萱地区内で学習活動に励む個人や団体、学習グループ等が一堂に会し、コロナ禍にあっても継続してきた日頃の学習成果を発表し合い、団体相互の交流を深めることができました。

また、その活動内容を広く地域市民に公開することにより、住民の芸術文化への興味関心を高めるとともに、今回から期間拡大して新設した太極拳・フォークダンス・社交ダンス団体によるフロア発表部門の実施や前回に引き続き学習グループによる七宝焼きなどの譲渡販売会、図書館桂萱分館によるリサイクル本の無料配布や新たに文化祭クイズラリー並びに幸せの黄色いベンチのペイントなどを実施し、多くの来場者を呼び込むことができ地域文化の向上と住みよい地域づくりに寄与することができました。

文化祭に参加した中学生並びに一般ボランティアは、文化祭を通して普段接することがない地域の多くの人と接することができ、思い出に残るよい経験をしたのではないかと感じました。

今後も、地域住民と力を合わせて地域の絆を深められる伝統のある文化祭を開催していきたい。



作品展示



フロア発表



ふれ愛コンサート



舞台発表

6 自主学習グループ支援事業

防災研修

(1) ねらい

- ①自主学習グループ会員同士の交流の機会として、学習の場を設けることにより、グループ活動の活性化を図る。
- ②学習活動中にも起こりうる災害に備えるため、備蓄や心構え、災害発生時の行動様式について学び、不安解消の一助とする。
- ③災害発生時の情報収集方法として、デジタル機器スマートフォンやタブレット等)を用いた方法を学ぶことにより、機器の操作に親しむ機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱学習グループ連絡協議会に所属するグループの会員

周知方法：チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/13(月) 10:00~11:45	「自然災害から身を守る」 ～災害発生時の情報収集方法を学ぶ～	講義	前橋市防災危機管理課 気象防災アドバイザー 萩原 隆嗣 (出前講座)	12

(4) 評価と反省

いつ、どこで起こるか分からない災害に備えるため、普段からの準備や心構え、いざという時にどう行動すればよいか、スマートフォンやタブレットを利用した情報収集方法など防災について学んだ。受講生は、気象庁のアプリ「キキクル」(大雨・浸水・土砂などの情報)の活用方法や河川水位の確認方法、大雨や地震発生時の避難方法等について熱心に聞き入り、終了予定時間を過ぎても質問が次々と出て、それぞれが防災への意識を高めていた。



近くを流れる河川の情報に耳を傾けます



分散避難について学びます

珈琲の淹れ方講座

(1) ねらい

- ①自主学習グループ会員同士の交流の機会として、学習の場を設けることにより、グループ活動の活性化を図る。
- ②人気の嗜好品であるコーヒーに関する知識を増やすことで、教養を高めるとともに学習活動の楽しみを広げる機会とする。

(2) 対象等

対象：桂萱学習グループ連絡協議会に所属するグループの会員

周知方法：チラシ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/20(月) 10:00~11:10	「珈琲の時間」 ～淹れ方を学んで、香りや味を楽しもう～	講義	新木珈琲店 西片貝店 新木信幸ほか2名	10

(4) 評価と反省

各卓で交流を図りながら、コーヒーについて楽しく学習することができた。「フィルターの縁に広がる粉に直接お湯を注いで縁から落としてはいけない」、今までの常識が覆る数々の説明に受講生は1つ1つ感心しながら耳を傾けていた。粉を均一に広げ、お湯をゆっくり注いで、香りを楽しみながら抽出。雑味がない仕上がりに「おいしい。今まで飲んだ中で一番。」と歓喜の声が上がった。2回目も堪能し、受講生は皆、興奮と感動に包まれた様子。満足度が非常に高く、継続開催希望多数だった。



お湯の注ぎ方についての説明



実際にコーヒーにお湯を注ぎます

参考：令和4年度桂萱学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容	参加者等
1	4/5 (火)	役員会議	6
2	4/15 (金)	代表者会議	28グループ
3	5/26 (木)	新旧役員歓送迎会	15
4	6/12 (日)	前期公民館清掃	16グループ + 役員
5	6/13 (月)	研修「自然災害から身を守る」	12
6	7/1 (木)	第83号連協だより発行 (館報7月号と同紙面)	毎戸配布
7	10/22 (土) 29 (土) 30 (日)	第42回桂萱地区文化祭	全グループ
8	11/15 (火)	役員会議	5
9	12/18 (日)	後期公民館清掃	18グループ + 役員
10	12/18 (日)	役員会議	7
11	1/1 (日)	第84号連協だより発行 (館報1月号と同紙面)	毎戸配布
12	1/13 (金)	減免申請説明会	28グループ
13	2/20 (月)	研修「珈琲の時間」	10
14	3/7 (火)	会計監査	予定
15	3/14 (火)	役員会議	予定

7 桂萱公民館 館報「桂萱」

(1) 公民館報「桂萱」の発行

①公民館発行委員会（構成団体：桂萱地区自治会連合会・桂萱地区地域づくり推進協議会・桂萱地区青少年健全育成会・桂萱学習グループ連絡協議会・桂萱公民館）にて館報の編集・作成し、公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務のお知らせ、図書館新刊図書の案内をしている。

②A4判カラー両面印刷、または各種団体情報の掲載時（青健だより等）にはA3判カラー両面印刷。毎月1日発行。

③桂萱地区毎戸（12,500戸/月）及び地区内の教育関係機関（小・中学校）、図書館桂萱分館に配布している。

(2) ホームページ・インスタグラムを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ上に桂萱公民館に関わる情報（公民館概要、取扱い業務、周辺地図、公民館部屋利用について、学習グループ一覧、館報等）を掲載。

8 各種団体事業・団体育成事業

桂萱地区のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場【中止】

【協議結果】

「令和4年度前橋市のびゆくこどものつどい」及び共催事業である「ふれあいの広場」の開催等について、地区役員で検討を行いました。その結果、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、来場者、運営側の多くの子どもから高齢者で濃厚接触が想定される企画も多数あり、安全確保が徹底できないことから「中止」決定しました。

健康で明るく育つ子どもたちを地域で祝福するとともに、子どもたちが楽しみ、互いに励ましあいながら、様々な体験をすることを通じて子どもたちの健全育成を図る。また、子どもからお年寄り、障害のある方々などが互いに交流し、ふれあいを深め子どもたちを地域で育てるという気運を醸成するとともに、ノーマライゼーションの理念に基づいた住みやすく暮らしやすい温かい地域づくりをめざす。

(2) 内容

月 日	事 業 内 容 等	人数	会 場
5/8 (日)	【公民館東側駐車場・西側駐車場】 開会式、桂萱中吹奏楽部演奏、親子運動会、クイズ桂萱、中学生チャレンジコーナー、乗馬体験、全員参加のビンゴゲーム、変形自転車コーナー、泉荘楽団楽器演奏、前橋高校大道芸部演技等、健康相談・歯磨き指導コーナー、医療機器・介護用品の展示コーナー、車椅子体験等、施設菓子類・うどんの販売、施設手芸品販売、クラフト作成、民生世代間工作・ヨーヨー釣り・県民健康科学大生のコーナー、福祉相談コーナー、健康栄養おやつ、消防コーナー（消防車・救急車の展示、煙体験、キーホルダーづくり）、警察コーナー（パトカーの展示・着ぐるみ写真撮影）、交通安全の呼びかけ、薬物乱用防止の呼びかけ、骨密度測定、バルーンアート、桂萱地区地域づくり推進協議会「ゴーヤの苗配布」、読み聞かせ・人形劇、自治会「駄菓子屋」出店、その他各種団体による模擬店等、閉会式	—	桂萱中学校第二グラウンドおよび桂萱公民館

桂萱地区スポーツ協会行事

令和4年度 桂萱地区スポーツ大会 結果

開催日	大会名	会 場	参加者数
4月18日(月)	桂萱地区スポーツ協会 総会	桂萱公民館ホール	43人
5月29日(日)	第56回スマイルボウリング大会	桂萱中学校体育館	20チーム約200人
	優勝-下沖町A 2位-幸塚町A 3位-荻窪町B 3位-上東町C		
6月26日(日)	第21回ソフトバレーボール大会	桂萱中学校体育館・桂萱小学校体育館	22チーム約180人
	《初級》 優勝-堤町A 2位-堀之下町 3位-上沖町 3位-萱野団地A		
	《上級》 優勝-上東町A 2位-亀泉町 3位-荻窪町 3位-下沖町A		
9月4日(日)	第27回ゴルフ愛好会親善ゴルフ大会	赤城国際カントリークラブ	69人
	《団体》 優勝-幸塚町 2位-西片貝町 3位-下沖町		
	《個人男子》 優勝-真下清一(幸塚町) 2位-中島宏(西片貝町) 3位-真下彰之(幸塚町)		
	《個人女子》 優勝-金井喜美子(下沖町) 2位-鈴木裕美(西片貝町) 3位-倉賀野文代(下沖町)		
9月23日(金)	第53回ソフトボール大会	登利平桃ノ木川グラウンド	雨天中止
10月2日(日)	第63回桂萱地区市民運動会	桂萱小学校校庭	中止
10月23日(日)	第28回グラウンド・ゴルフ大会	中央ビジネス石岡公園多目的広場	45チーム約300人
	《団体》 優勝-東片貝町A 2位-西片貝町A 3位-上東町F		
	《個人男子》 優勝-佐藤重子(上東町) 2位-中野利男(江木町) 3位-伊藤ひろ子(荻窪町)		
11月23日(水)	第54回レディースバレーボール大会	桂萱中学校体育館・桂萱小学校体育館	中止
2月5日(日)	第54回卓球大会	桂萱中学校体育館	15チーム約85人
	《一般団体》 優勝-上東町A 2位-亀泉町A 3位-幸塚町 3位-西片貝町A		
	《新卓球個人》 優勝-山口善治(東片貝町) 2位-反町裕美(江木町) 3位-阿久澤慎(幸塚町) 3位-高山裕子(東片貝町)		

9 読書普及活動

公民館報において、前橋市立図書館桂萱分館新刊図書のご案内を掲載し、地域住民への読書の普及を行っている。

○前橋市公民館条例

昭和30年3月28日

条例第24号

(設置)

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第21条の規定により前橋市に公民館を設置する。

(目的)

第2条 公民館は、市民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(名称、位置及び対象区域)

第3条 公民館の名称、位置及び対象区域は、次のとおりとする。

名称	位置	対象区域
前橋市中央公民館	前橋市本町二丁目12番1号	全市域
前橋市上川淵公民館	前橋市後閑町35番地	前橋市支所及び出張所設置条例(昭和42年前橋市条例第23号。以下「設置条例」という。)別表に定める上川淵市民サービスセンターの所管区域
前橋市上川淵公民館 上北分館	前橋市中内町7番地4	西善町 山王町 山王町一丁目 山王町二丁目 中内町 東善町
前橋市下川淵公民館	前橋市鶴光路町701番地	設置条例別表に定める下川淵市民サービスセンターの所管区域
前橋市芳賀公民館	前橋市鳥取町817番地	設置条例別表に定める芳賀市民サービスセンターの所管区域
<u>前橋市桂萱公民館</u>	<u>前橋市上泉町141番地3</u>	<u>設置条例別表に定める桂萱市民サービスセンターの所管区域</u>
前橋市東公民館	前橋市箱田町543番地1	設置条例別表に定める東市民サービスセンターの所管区域
前橋市元総社公民館	前橋市元総社町三丁目1番地1	設置条例別表に定める元総社市民サービスセンターの所管区域
前橋市総社公民館	前橋市総社町総社1583番地2	設置条例別表に定める総社市民サービスセンターの所管区域
前橋市総社公民館 桜が丘集会所	前橋市総社町桜が丘1208番地9	総社町桜が丘
前橋市南橋公民館	前橋市日輪寺町158番地	設置条例別表に定める南橋市民サービスセンターの所管区域
前橋市清里公民館	前橋市青梨子町339番地	設置条例別表に定める清里市民サービスセンターの所管区域
前橋市永明公民館	前橋市小屋原町1857番地3	設置条例別表に定める永明市民サービスセンターの所管区域

前橋市城南公民館	前橋市二之宮町1320番地	設置条例別表に定める城南支所の所管区域
前橋市大胡公民館	前橋市河原浜町480番地	設置条例別表に定める大胡支所の所管区域
前橋市宮城公民館	前橋市鼻毛石町1711番地8	設置条例別表に定める宮城支所の所管区域
前橋市宮城公民館 鼻毛石集会所	前橋市鼻毛石町647番地6	鼻毛石町
前橋市粕川公民館	前橋市粕川町西田面194番地4	設置条例別表に定める粕川支所の所管区域
前橋市粕川公民館 込皆戸集会所	前橋市粕川町込皆戸129番地1	粕川町込皆戸
前橋市粕川公民館 膳集会所	前橋市粕川町膳219番地2	粕川町膳
前橋市富士見公民館	前橋市富士見町田島866番地1	設置条例別表に定める富士見支所の所管区域

2 前橋市中央公民館は、全市域にわたる事業、公民館相互の連絡調整に関する事業その他個々の公民館に行うことが不相当と認められる事業を行う。

(昭41条例34・昭42条例27・昭43条例27・昭45条例35・昭45条例65・昭46条例41・昭47条例26・昭48条例22・昭49条例54・昭50条例19・昭53条例7・昭56条例37・昭56条例55・昭57条例7・昭58条例20・昭58条例26・昭59条例6・昭61条例34・平元条例2・平2条例23・平12条例50・平16条例19・平18条例2・平18条例35・平19条例47・平20条例48・平23条例2・平23条例32・平26条例59・平28条例58・一部改正)

(管理)

第4条 公民館は、前橋市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(昭48条例22・平17条例44・一部改正)

(職員)

第5条 公民館に次の職員を置く。

- (1) 館長 1人
- (2) 主事 若干名
- (3) その他の職員 若干名

(昭58条例20・平8条例11・一部改正)

(職員の任免及び身分)

第6条 公民館職員の任免は、教育委員会が行う。

2 公民館職員の給与、服務その他必要な事項については、別に法律、命令等により特に規定された事項を除き、教育委員会事務局職員の例による。

(運営審議会及び運営推進委員会)

第7条 法第29条第1項の規定に基づき、前橋市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を前橋市中央公民館に置く。

2 その他の公民館に前橋市公民館運営推進委員会を置くことができる。

(平12条例5・一部改正)

(審議会の委員の定数)

第8条 審議会の委員の定数は、20人以内とする。

(平8条例11・平12条例5・平24条例17・一部改正)

(審議会の委員の委嘱)

第9条 審議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

(平24条例17・追加)

(審議会の委員の任期)

第10条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 審議会の委員は、再任されることができる。

(昭44条例23・平8条例11・一部改正、平24条例17・旧第9条繰下・一部改正)

(経費)

第11条 公民館の維持運営に要する経費は、一般市費、補助金、寄附金その他の収入をもってこれに充てる。

(昭44条例23・旧第11条繰上、平24条例17・旧第10条繰下)

(規則への委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別にこれを定める。

(昭44条例23・旧第12条繰上、平8条例11・一部改正、平24条例17・旧第11条繰下)

附 則

この条例は、昭和30年4月1日から施行する。

《 附 則 中 略 》

附 則 (平成28年9月13日条例第58号)

この条例は、市規則で定める日から施行する。

(平成29年規則第22号で平成29年4月1日から施行)

○前橋市公民館運営審議会規則

昭和30年6月13日

教育委員会規則第27号

改正 昭和37年11月1日教委規則第7号

(目的)

第1条 前橋市公民館条例(昭和30年前橋市条例第24号)第7条に規定する前橋市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)は館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとし、本規則の定めるところにより運営する。

(役員)

第2条 審議会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 1名

2 役員を選出は、委員の互選による。

(役員の仕事)

第3条 委員長は、会務を総理する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるとき、これを代理する。

3 委員長、副委員長共に事故あるときは、委員の中で最年長者がこれを代行する。

(専門委員会)

第4条 審議会は、必要により専門委員会を設けることができる。

2 専門委員は、委員長がこれを委嘱する。

(会議)

第5条 会議は、中央公民館長の要請により委員長がこれを招集する。

2 会議は委員の半数以上の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。

(委任)

第6条 この規則施行について必要な事項は、教育長にはかり中央公民館長がこれを定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和37年11月1日委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

○前橋市公民館運営推進委員会規則

昭和37年11月1日
教育委員会規則第8号

改正 昭和49年4月30日教委規則第7号
平成12年3月27日教委規則第13号
平成13年5月28日教委規則第3号
平成24年3月23日教委規則第6号

(目的)

第1条 この規則は、前橋市公民館条例（昭和30年前橋市条例第24号）第7条第2項により設置される前橋市公民館運営推進委員会（以下「推進委員会」という。）について定めることを目的とする。

(任務)

第2条 推進委員会は、公民館における各種事業の企画実施について調査審議し、公民館運営に協力するものとする。

(定数及び委嘱)

第3条 推進委員会の委員の定数は10人以内とし、前橋市公民館条例第9条各号に規定する者のうちから教育長に諮り、館長がこれを委嘱する。

（昭49教委規則7・平12教委規則13・平13教委規則3・平24教委規則6・一部改正）

(運営)

第4条 推進委員会の運営は、前橋市公民館運営審議会規則（昭和30年教育委員会規則第27号）の例によるものとする。

(委任)

第5条 この規則施行について、必要な事項は、教育長に諮り館長がこれを定める。

附 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 前橋市公民館支館運営推進委員会規則（昭和30年教育委員会規則第28号）は、廃止する。

附 則（昭和49年4月30日教委規則第7号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成12年3月27日教委規則第13号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成13年5月28日教委規則第3号）

この規則は、平成13年7月1日から施行する。

附 則（平成24年3月23日教委規則第6号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

